

【平成26年度 日中活動系事業所アンケート 調査結果】

1 調査対象の整理

※ 線 昨年度検証後からの新規事業所

(1)地区別一覧 ※東名高速を境に東西で分ける。

東部地区 18事業所 (H25比+3)	西部地区 21事業所 (H25比+5)
夢の家(明知町)	春日井市福祉作業所(浅山町)
けやきの家(廻間町)	第一希望の家(王子町)
はさま(廻間町)	なかぎりワークス(中切町)
わかば(廻間町)	ナップの森(東野町)
春日苑(廻間町)	ぬくもり(朝宮町)
第二希望の家(岩成台)	あざみの家(林島町)
さいおワークス(高森台)※バレットハウスから名称変更	ワーカー鷹来(鷹来町)
ナップの森(押沢台)	かすがいフォレスト(八田町)
ゆうゆう倶楽部(石尾台)	ベスト(中央通)
ラズベリージョブズ(高蔵寺町北)	ピア・ステーション(鳥居松町)
かきつばた(庄名町)	セントラルキッチンかすがい(四ツ家町)
ゆずりは(高森台)	a・mi(大手町)
夢工房(高森台)	内職クラブ(東野町)
徒夢創屋(押沢台)	のどか(旭町)
地域活動支援センター坂下(坂下町)	さいおワークス(柏井町)※バレットハウスから名称変更
歩風(出川町)	聴覚・ろう重複センター桃(岩野町)
タウン・ジョブズ(高蔵寺町北)	シエンテラス(勝川町)
NCPエージェント(藤山台)	かなえ(勝川町)
	Masa夢(前並町)
	サンライク(知多町)
	アトリエ ゼロ(稲口町)

※日中活動系事業所マップ参照

(2)サービス体系別

生活介護 11か所	東 部 7	夢の家
		春日苑
		けやきの家
		歩風
		はさま
		わかば
	西 部 4	第二希望の家
		春日井市福祉作業所
		第一希望の家
		Masa夢
		さいおワークス(柏井町)
地域活動支援センター 11か所	東 部 4	ナップの森(押沢台)
		ゆうゆう倶楽部
		NCPエージェント
		徒夢創屋
	西 部 3	ナップの森(東野町)
		ぬくもり
		ピア・ステーション
	土日限定 東部4	はさま
		ラズベリージョブズ
		さいおワークス(高森台)
		地域活動支援センター坂下
就労継続支援A型 6か所	東部 0	
	西 部 6	セントラルキッチンかすがい
		a・mi
		シエンテラス
		かなえ
		アトリエ ゼロ
内職クラブ		
就労移行支援 3か所	東 部 2	ゆずりは
		さいおワークス(坂下)
	西部 1	ベスト
就労継続支援B型 13か所	東 部 4	わかば
		夢工房
		タウンジョブズ
		かきつばた
	西 部 9	春日井市福祉作業所
		ワーカー鷹来
		あざみの家
		サンライク
		なかぎりワークス
		かすがいフォレスト
		セントラルキッチンかすがい
		のどか
		聴覚・ろう重複センター桃

(3)障がい種別(医療的対応含む)

身体障がい	東部 2	夢の家 春日苑				
知的障がい	東部 7	はさま わかば 第二希望の家 さいおワークス(高森台) ゆうゆう倶楽部 かきつばた 地域活動支援センター坂下				
		西部 5	春日井市福祉作業所 第一希望の家 さいおワークス(柏井町) なかぎりワークス あざみの家			
			精神障がい	西部	ピア・ステーション	
			知的障がい・精神障がい	西部 2	かすがいフォレスト a・mi	
			精神障がい・身体障がい	西部	アトリエ ゼロ	
		3障がい	東部 5	夢工房 タウンジョブズ ラズベリージョブズ ゆずりは かきつばた		
	西部 8			セントラルキッチンかすがい 内職クラブ かなえ ベスト サンライク シエンテラス ぬくもり のどか		
				身体(知的)障がい	西部	Masa夢
				聴覚障がい	西部	聴覚・ろう重複センター桃
				知的障害を主として合併障がいも者も可	東部	けやきの家
知的障がい・発達障がい			東部・西部	ナツの森		
知的・身体・精神障がい・その他	東部		徒夢創屋			
知的障がい(精神・身体・難病・重心は応相談)	東部		NCPエージェント			
主に知的障害	西部		ワーカー鷹来			
指定なし	東部		歩風			
特になし	西部	ヘルプステーションのどか				
全障がい	西部	サンライク				
特に制限なし。全員受け入れ可	西部	ベスト				

医療的ケアが可能	東部 3	春日苑(胃ろう・その他(面談により判断する)) ゆうゆう倶楽部(たん吸引(特定の方のみ)) 夢の家(たん吸引・胃ろう)
	西部 2	Masa夢(たん吸引・胃ろう・褥瘡処置・排便処理) ぬくもり(可否は要相談)

小括

・昨年度と比べて事業所数が増加した。特に就労継続支援A型の増加が目立った。

・医療的ケアが実施可能な事業所は調査対象44事業所中5事業所であった。

2 調査結果

(1) 卒業生と空き定員数の関係を見るための操作的な事業所分類

識別基準 A創作系事業所(創作活動及び介護を中心とする事業所)
 B作業系事業所(労働の対価として工賃支給がなされる事業所)
 C就労移行・A型(一般就労を目指す支援を行う、雇用契約を結ぶ事業所)

A 創作系事業所【13か所】	
東 部 9	夢の家(生活介護)
	春日苑(生活介護)
	歩風(生活介護)
	けやきの家(生活介護)
	はさま(生活介護)
	わかば(生活介護)
	第二希望の家(生活介護)
	ゆうゆう倶楽部(地域活動支援センター)
	徒夢創屋(地域活動支援センター)
西 部 4	第一希望の家(生活介護)
	春日井市福祉作業所(生活介護)
	Masa夢(生活介護)
	ぬくもり(地域活動支援センター)
B 作業系事業所【14か所】	
東 部 6	ナップの森(押沢台)(地域活動支援センター)
	NCPエージェント(地域活動支援センター)
	わかば(就労継続支援B型)
	タウンジョブズ(就労継続支援B型)
	かみつばた(就労継続支援B型)
	夢工房(就労継続支援B型)
西 部 8	春日井市福祉作業所(就労継続支援B型)
	ナップの森(東野町)(地域活動支援センター)
	さいおワークス(柏井町)(生活介護)
	セントラルキッチンかすがい(就労継続支援B型)
	サンライク(就労継続支援B型)
	あざみの家(就労継続支援B型)
	ワーカー鷹来(就労継続支援B型)
のどか(就労継続支援B型)	
C 就労移行・A型【9か所】	
東 部 2	ゆずりは(就労移行支援)
	さいおワークス(高森台)(就労移行支援)
西 部 7	セントラルキッチンかすがい(就労継続支援A型)
	a・mi(就労継続支援A型)
	シエンテラス(就労継続支援A型)
	かなえ(就労継続支援A型)
	アトリエ ゼロ(就労継続支援A型)
	内職クラブ(就労継続支援A型)
	ベスト(就労移行支援)

(2)分類ごとの調査結果

A 創作系事業所				
東 西	事業所名	利用定員数	1日平均実利用者数	利用可能者数
東部地区	夢の家	31	31.7	10名程度
	春日苑		6	若干名
	歩風	10	2	8名程度
	けやきの家	40	46	若干名
	はさま	25	22	3~8名程度
	わかば(生介)	10	9.3	1名程度
	第二希望の家	16	16.3	1名程度
	ゆうゆう倶楽部	20	3	9名程度
	徒夢創屋	10	2.5	1名程度
	小計			
西部地区	第一希望の家	20	19	2名程度
	春日井市福祉作業所(生介)	10	9.7	0
	Masa夢	20		0
	ぬくもり	10	1	4名程度
小計				6名程度
合計				39~44名+α

B 作業系事業所				
東 西	事業所名	利用定員数	1日平均実利用者数	利用可能者数
東部地区	ナップの森(押沢台)	18	13	5名程度
	NCPエージェント	10	0.5	1名程度
	わかば(就B)	30	21.9	1名程度
	タウンジョブズ	20		10名程度
	かきつばた	20	10.5	5名程度
	夢工房	20	6	8名程度
小計				30名程度
西部地区	春日井市福祉作業所(就B)	60	50	10名程度
	ナップの森(東野町)	12	7	5名程度
	さいおワークス(生介)	6	6	0
	セントラルキッチン(就B)	20	18.6	4名程度
	サンライク	20		0
	なかぎりワークス	40	47.1	1名程度
	あざみの家	20	12	3名程度
	ワーカー鷹来	50	48	1名程度
	のどか	10	3	2名程度
小計				26名程度
合計				56名程度

C 就労移行・A型				
東 西	事業所名	利用定員数	1日平均実利用者数	利用可能者数
東部地区	ゆずりは	20	11	9名程度
	さいおワークス(就移)	20	14	4名程度
	小計			
西部地区	セントラルキッチン(就A)	30	29.8	1名程度
	a・mi	10	6	2名程度
	シエンテラス	20		13名程度
	かなえ	20		0
	アトリエ ゼロ	20	8	5名程度
	内職クラブ	20	19	1名程度
	ベスト	20	8	7名程度
小計				29名程度
合計				42名程度

②分類対象外事業所の調査結果

ア 土日のみの開設

事業所名	利用定員数	1日の平均実利用者数	今後の可能利用枠数
はさま(地域活動支援センター)	15	13.7	4名程度
さいおワークス(高森台 地活)	13	9	—
ラズベリージョブズ	15	4	10名程度
地域活動支援センター坂下	12	8.6	3名程度

イ 精神障がい者が主に利用する事業所

事業所名	利用定員数	1日の平均実利用者数	今後の可能利用枠数
かすがいフォレスト	20	12.7	5名
ピア・ステーション	30	11	5名程度

ウ 身体障がい者(聴覚障がい)が主に利用する事業所

事業所名	利用定員数	1日の平均実利用者数	今後の可能利用枠数
聴覚・ろう重複センター桃	20	12.6	ある(実数は不明)

小括

<p>・創作系事業所において市内で40名以上の空き定員があった。昨年度の調査結果は約20名だったので、倍増した。しかし東西格差は今年度も残った。</p> <p>・作業系事業所においては市内で56名の空き定員があった。昨年度は37名だったので1.5倍になった。</p> <p>・就労移行支援支援事業所・就労継続支援A型事業所については、42名の空き定員があった。昨年度は31名だったので、10名程度増加した。</p> <p>・今後増員・新設する予定の事業所が生活介護5事業所、地域活動支援センター2事業所、就労継続支援4事業所、就労継続支援A型2事業所、就労移行支援1事業所であった。増員・新設の状況によっては、上記数値が変わる可能性がうかがえた。</p>

3 特別支援学校への調査結果

(1) 春日台特別支援学校 卒業生進路希望

東部地区

年 度	就労希望	就移・A型	作業系	創作系	合計
高3(平成26年3月卒業)	2	0	3	8	13
高2(平成27年3月卒業)	6	3	7	8	24
高1(平成28年3月卒業)	0	1	3	5	9
中3(平成29年3月卒業)	0	0	3	3	6
中2(平成30年3月卒業)	0	0	0	4	4
中1(平成31年3月卒業)	0	0	0	2	2
合計	8	4	16	30	58

西部地区

年 度	就労希望	就移・A型	作業系	創作系	合計
高3(平成26年3月卒業)	1	3	6	8	18
高2(平成27年3月卒業)	3	7	3	9	22
高1(平成28年3月卒業)	6	4	6	4	20
中3(平成29年3月卒業)	0	2	2	4	8
中2(平成30年3月卒業)	0	0	2	8	10
中1(平成31年3月卒業)	0	0	4	5	9
合計	10	16	23	38	87

(2) 小牧特別支援学校 卒業生進路希望

東部地区

年 度	就労・進学	就移・A型	作業系	創作系	合計
高3(平成26年3月卒業)	0	0	0	1	1
高2(平成27年3月卒業)	0	0	0	1	1
高1(平成28年3月卒業)	1	0	0	1	2
中3(平成29年3月卒業)	0	0	0	0	0
中2(平成30年3月卒業)	0	0	0	0	0(未定1)
中1(平成31年3月卒業)	0	0	0	0	0(未定1)
合計	1	0	0	3	4(未定2)

西部地区

年 度	就労・進学	就移・A型	作業系	創作系	合計
高3(平成26年3月卒業)	0	0	0	0	0
高2(平成27年3月卒業)	1	2	0	1	4
高1(平成28年3月卒業)	0	0	0	2	2
中3(平成29年3月卒業)	1	0	1	1	3
中2(平成30年3月卒業)	1	1	0	3	5
中1(平成31年3月卒業)	0	0	1	0	1
合計	3	3	2	7	15

(3) 2校の今後6年間における合計

	総数	東部	西部
市内在校生	166	64	102
創作系を利用予定の生徒	78	33	45
作業系を利用する生徒見込数	41	16	25
就職・進学希望する生徒見込数	22	9	13
就労移行・A型を利用する生徒見込数	23	4	19

※春日台特別支援学校の推計については、高等部は進路希望の聞き取り結果を反映、中学部は療育手帳の判定結果から判断した(A判定が創作系、B判定が作業系、C判定が就移・A型)。

小括

- ・春日台特別支援学校において、今年度の高等部3年生(春日井市内在住)31名中、28名が障がい福祉サービスを利用予定。
- ・小牧特別支援学校において、今年度の高等部3年生(春日井市在住)は1名であり、創作系事業所の利用を希望していた。
- ・今後6年間にて、166名が卒業(東部64名、西部102名)

4 卒業生と空き定員の関係

① 現高等部3年生

	区分	生徒数	利用可能者数	過不足数
A創作系事業所	全体	17	39～44	22～27
	東部	9	33～38	24～29
	西部	8	6	△2
B作業系事業所	全体	9	56	47
	東部	3	30	27
	西部	6	26	20
C就労移行・A型	全体	3	42	39
	東部	0	13	13
	西部	3	29	26

② 今後6年間の卒業生

	区分	生徒数	利用可能者数	過不足数
A創作系事業所	全体	78	39～44	△34～39
	東部	33	33～38	0～5
	西部	45	6	△39
B作業系事業所	全体	41	56	15
	東部	16	30	14
	西部	25	26	1
C就労移行・A型	全体	23	42	19
	東部	4	13	9
	西部	19	29	10

まとめ

・現高等部3年生については、西部地区の創作系事業所希望者のみ、定員が不足すると思われた(東部地区の事業所対応可能か?)

・今後6年間については、従前通り、創作系事業所が不足する。特に西部地区の不足は顕著であった。

今後の課題(部会としての考え)

・創作系事業所が不足する。そのため既存施設の定員増や新設が必要不可欠である。そこで従事する職員の確保・育成も重要になってくる。

・西部の日中活動先の不足については、Masa夢が新設されたことにより若干の改善があった。また、今回の調査対象外ではあるが、日中一時支援の事業所が、医療的ケアが必要な方の通所施設として機能している事例もあり、今後も経過をみていく必要がある。

・就労継続支援A型・B型、就労移行支援事業所について、特別支援学校卒業生の進路先としては十分確保されている。離・退職者の受け入れなど、特別支援学校以外でのニーズをみていく必要性が考えられた。